

## 平成23年度第3回 福岡市立学校給食運営検討委員会 議事録

### 1 開催概況

- (1) 日 時：平成23年11月30日（水） 10:00～12:00
- (2) 場 所：福岡市学校給食センター内 給食会館2階会議室
- (3) 出席委員：今井克己委員長，松田瑞恵副委員長  
竹下真理子委員，簗田輝委員，木下弘一委員  
乙藤美那子委員，小石景子委員，斉藤弘委員  
波多江修委員，桑野剛史委員，矢口幸枝委員  
志田香緒里委員，泊孝子委員，曾根田秀明委員  
✧野忠雄委員，大塚浩喜委員（以上16名）
- (4) 事務局：6名

## 2 議事録（要旨）

### (1) 議 題 1：学校給食費の収納状況について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し、特に意見等はなかった。

### (2) 議 題 2：学校給食費の改定について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し、以下のような意見が表明された。

- ・保護者への周知を行う際には専門用語は控え、分かりやすい表現で行って欲しい。
- ・栄養士としては今回の値上げにより今まで以上に地産地消・食育をテーマとした献立作成が行えると思うので、よりよい給食が提供出来るよう頑張っていきたい。
- ・PTAとしてもより一層の食育の充実を要望しておく。

ウ 以上の質問や意見を踏まえて、事務局等から次の通り回答や発言があった。

- ・保護者へ周知を行う際には分かりやすい表現を心がけていく。
- ・教育委員会としても、よりよい給食の提供が出来るよう努めて行く。

### (3) 議 題 3：中学校給食コンテストの結果について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し、特に意見等はなかった。

### (4) 議 題 4：学校給食センター再整備事業について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し、以下のような意見が表明された。

- ・アレルギー対応食の決定手順のところで、医師の診断をもとに学校が決定するところがあるが、診断書についてはどのように考えているのか。
- ・中学校で箸を持参している生徒数は少ないが、箸持参という対応は可能なのか。
- ・給食センター再整備に伴い、4センターから3センターへ集約されることで1セ

ンターあたりの配送校数が増えるが、これまでより配送時間は延びたりしないのか。

- ・ランチプレートから個別食器に変更することで、配膳の際の生徒の負担は増えるのか。

ウ 以上の質問や意見を踏まえて、事務局等から次の通り回答や発言があった。

- ・アレルギー対応食については、基本的には保護者から提出された診断書をもとに学校との面談を経て学校で決定することで考えている。診断書の内容・書式等については診断書作成費用のこともあるので、基本的に小学校で使用しているものと同じようなものを想定しているが、今後、福岡市医師会と協議していく。
- ・箸の持参については、現状はランチプレートということもあり、箸を持参していない生徒も結構いるが、献立表等でも箸の持参を指導していく。また、個別食器の試行を行った際にも生徒からも個別食器にスプーンはおかしい等の意見もあった。なお、小学校では箸の持参が出来ているので、中学1年生は問題なく行えると思う。中学2年生及び3年生については慣れるまで時間がかかる面はあるかと思うが、箸の持参推進は可能と考えている。
- ・給食センター再整備後の配送時間については、30分以内の学校が大半であり、一番遠い学校でも45分程度で配送可能と考えている。配送方法を現行の食器・食缶を同時に配送する方式から食器・食缶を別々に配送する方式へ変更することや配送車両台数を確保することで、配送エリアは広がるが、2時間喫食を達成出来る配送時間となると考えている。
- ・配膳の際の生徒の負担については、個別食器の試行の際に、ランチプレート・個別食器を比較検証したが、食器籠1籠あたりの重量は変わらなかった。なお、個別食器に変更することに伴い、食器の数と食器籠、食缶が増えるため、クラス毎の給食当番の人数が増えることが想定されるが、配膳時間は大きく変わらないことを確認出来ており、個別食器でいくこととしている。